

令和5年度 レギュラトリーサイエンス分野教科担当教員会議 議事録

- 【日時】 令和6年2月3日（土） 13時00分～18時00分  
【場所】 名古屋市立大学田辺通キャンパス（名古屋市瑞穂区田辺通3-1）  
【会議形式】 対面開催  
【参加者】 60名

【プログラム】

<テーマ> レギュラトリーサイエンス教育での関連する科目との連携

全体の進行：頭金正博（名古屋市立大学）

- 13：00～13：10 開会の挨拶 名古屋市立大学薬学部・薬学部長 中川 秀彦  
13：10～14：00 特別講演 名古屋市立大学薬学部 鈴木 匡 先生  
社会のニーズに対応した新しい薬学教育を考える～コアカリ作成の立場から～  
14：00～14：10 グループディスカッションの説明  
14：10～14：20 休憩・移動  
14：20～15：20 グループディスカッション①（講義室1，2，3，OSCE1～6）  
15：20～15：50 ティーブレイク（カフェテリア）  
15：50～16：20 グループディスカッション②（講義室1，2，3，OSCE1～6）  
16：20～17：50 グループディスカッションの発表 司会 安部賀央里（名古屋市立大学）  
17：50～18：00 次期開催校、その他連絡・情報共有  
閉会の挨拶 名古屋市立大学

【資料】

1. 令和5年度レギュラトリーサイエンス分野教科担当教員会議 議事次第
2. グループディスカッション参考資料
3. 「製薬協のアドボカシー活動について ～薬学教育における取り組み～」資料
4. 特別講演 「社会のニーズに対応した新しい薬学教育を考える～コアカリ作成の立場から～」資料
5. グループディスカッション成果物（法規、医薬品情報、医療薬学1、医療薬学2、基礎1，基礎2）

【会議内容】

1. 名古屋市立大学薬学部長・中川秀彦先生より開会の挨拶があった。
2. 名古屋市立大学薬学部教授・鈴木匡先生より、「社会のニーズに対応した新しい薬学教育を考える～コアカリ作成の立場から～」と題した特別講演があり、講演後質疑応答があった。資料4
3. グループディスカッションの課題と進行方法等について頭金より説明があった。また、製薬協のアドボカシー活動の資料について紹介をした。資料2、資料3
4. 6グループ（法規、医薬品情報、医療薬学1、医療薬学2、基礎1，基礎2）に分かれてグルー

プディスカッションを行い、成果物を作成した。

5. 各グループから成果物の発表が有り、各グループの発表に対して質疑応答があった。資料 5
6. 次回開催校・世話人の慶應義塾大学薬学部・漆原尚巳教授より挨拶があった。
7. 名古屋市立大学・頭金より閉会の挨拶があった。

(世話人・記録者：名古屋市立大学 頭金 正博)

以上